

【取組内容】 ICT活用を軸とした、教科の枠組みを越えた授業改善の取り組み

授業で使うツールを使っての校内研修

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて

① 新しいツールはすぐ使う

予想される生徒の姿を明確にした授業づくり



デジタルホワイトボード
ソフトで授業改善についてシェア
→ スキルの習得
→ 授業実践

② 教科の枠を越えて情報交換

「ICT活用」が共通テーマ
→ 教科の枠を越えて議論

学習プランはドキュメント
→ 協働編集、コメントで充実



(3) 想定される生徒の姿と教師の支援

多くの生徒は、以下の2通りの予想をされると考えられる。

① Aのほうが早く到着する
Bに比べて、Aのほうがレールの長さが短いため、Aのほうが早く到着する。

② AとBは同時に到着する
AとBははじめの高さと、ゴールの高さが同じであるため、同時に到着する。

①は、レールが下ったり登ったりする過程での速さの変化に気づいていない、または、速さの変化が相殺されると同じになると考えている可能性がある。②は、前時に学習した力学的エネルギーの保存の視点から説明しようとして試みているものの、加速して進むことができる距離に気づいていない可能性がある。いずれにしても、これまでの学びを活用して思考しようとしているものの、現象の結果を正しく説明できていない状態ではない。

そこで、「Bのほうが早く到着する」という事実を説明しようとする際に、前述したつまずきを、生徒たちが自らでクリアしていくことができるよう、工夫する。具体的には、ストロボ写真などの解析を切り口に、自分の考えを表現し、ソフトウェア・クラウドを有効活用して他者と効果的に学び合うことで、自分の考えをブラッシュアップできるような学習環境を整備する。

また、今回の学習はエネルギーの有効活用という視点から、私たちの生活に密接に関連している現象であることを振り返り紹介し、次單元「多様なエネルギーとその移り変わり」につなげていく。

<追記事項>

■ 予想される生徒の思考と問題点.pdf

・ figjamであれば、手書きでもストレスなく書きこみができそう。
途中で、テキストマイニングで、キーワードを抽出する。(リアルタイムでできる? 手書きのものは?)

【学習プラン】

・ 想定される生徒がつま
ずくポイントを整理

・ つまずきの度合いに応じ
て、どのようにゴールへ
の足場かけをするか明記

→ 学びを生徒に委ねる

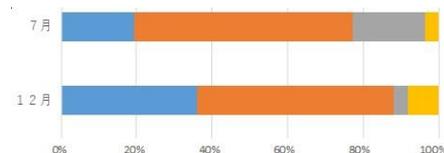
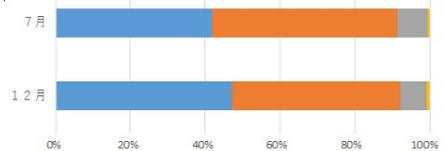
生徒と教師の変容

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う
■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

上段：7月
下段：12月

【生徒アンケート】
自分に合った方法や視点から、課題を解決できたと思う。

【教員アンケート】
授業の展開部分で、思考や対話の視点を明確にしたり、生徒のつまずきを予想したりすることで、生徒にまとまった活動時間や課題解決の方法を委ねることができたか。



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

能美市立根上中学校

【取組内容】 特別活動を核としたDC教育の取り組み

DC領域の設定		デジタル・シティズンシップ教育
著作権	a-2 引用のルールを知る	プライバシーとセキュリティ
	a-3 著作権などの情報に関する法・制度やマナーの意義について理解し、実践できる	
危険性の理解	b-1 インターネットを使うためのルールやマナーについて理解している	ニュース・メディアリテラシー
	b-2 騙そうとする情報やよくないサイトを見つけたらどのように対応したら良いか理解している	
	b-3 悪意のある情報もあることを理解している	
個人情報	c-1 個人情報の保護やID及びパスワードの大切さを理解する	プライバシーとセキュリティ
	c-2 自分で安全に管理することができる	
肖像権	d-1 肖像権 写真を撮るときには許可を得ることを理解する	プライバシーとセキュリティ
	d-2 ネット上に発信する際に配慮することがわかる	デジタル足跡とアイデンティティ
多面的・多角的な思考	e-1 情報を複数の視点から考えることができる	ニュース・メディアリテラシー
	e-2 複数の情報を比較して、視点をあげて考えることができる	
批判的思考	f-1 情報の正確さを判断することができる	ニュース・メディアリテラシー
	f-2 情報の信頼性を吟味することができる	
マナー	g-1 言葉だけでは伝わらないことを理解している	対人関係とコミュニケーション
	g-2 メールだけでは気持ちが届きにくいことがあることを理解している	
	g-3 メールやSNSだけでは誤解を招くことがあることを理解している	
生活態度	h-1 コンピュータやインターネットの長時間の使用が体に影響することがわかる	メディアバランス
	h-2 ネット依存症などにならないような適切な生活を考えることができる	
ルール・いじめ防止	i-1 ネット上に友達を誹謗中傷することを載せることはしない	ネットいじめ、オンライントラブル
	i-2 ネットいじめを防ぐためにできることを考えようとする	
デジタル足跡	j-1 ネット上に発信した情報は消えないことを理解している	デジタル足跡とアイデンティティ
	j-2 ネット上に発信する際に配慮することがわかる	

年間指導計画の作成 特別活動(年3回)

	1年	2年	3年
4	・ chromebook ルールの確認 (e-1,e-2) ・ 「著作権」より (a-1) ・ 著作権について (e-1,e-2,a-3)	・ chromebook ルールの確認 (e-1,e-2) ・ 著作権について (e-1,e-2,a-3)	・ chromebook ルールの確認 (e-1,e-2) ・ 著作権について (e-1,e-2,a-3)
5	・ 体験・体験と健康、薬物のとれた生活 (b-1,b-2) ・ 魚の顔 (b-1,b-2) ・ 11月1日の教育 (b-1,b-2)		
6	・ 情報を集めるよう (a-2,a-3) ・ うそを書き込み (c-1) ・ ネットとインターネットの安全に注意していくか (c-1,c-2)	・ メディアを比べよう (f-1,f-2) ・ あなたのメディア習慣とメディアバランス (f-1,f-2)	・ 自分のプライバシーとどう向き合うか (c-1,c-2)
7		・ 犯罪被害の防止 (g-1,g-2)	・ Let's Write 2 記事への意見 (e-1,e-2) ・ 情報化が進む現代 (e-1,f-1)
9	・ 言葉の向こうに (h-1,h-2,a-1,a-2)	・ My Future Job (e-1,e-2) ・ Homestay in the United States (e-1,e-2) ・ 消費生活と健康 (h-2,h-3,a-1,a-2)	・ 関の中の関 (h-3) ・ これからの人権を考える (h-1,a-3)
10	・ 男性の尊重と性情報への対応 (a-2,b-3) ・ 根拠を示して説明しよう (a-1,a-2) ・ こんなつもろじゃなかったのに (c-1,c-2)	・ 情報の適切さを考えて書こう (a-1,a-2) ・ 情報を確認、発信するときの責任ってなんだろう (c-1,c-2)	・ 実践とマスメディア (f-1,f-2) ・ 多角的に分析して書こう (a-1,a-2) ・ ネット依存に巻き込まれないために (c-1,c-2)
11			・ Let's Write 3 グラフや表の作成
12	・ 集めたかった1枚の葉 (a-2)		
1	・ Let's Climb Mt. Fuji (e-1)		
2		・ オンラインでの発信が社会に与える影響と (c-1,c-2)	
3			

授業づくりの基盤 (年度当初生徒向け)

デジタルシティズンシップ教育
 デジタル機器を有効に活用するために、必要な知識・技能を身に付けていく教育

みんなでデジタル機器を使用するときの注意点を考えていこう！！
 授業をはじめとした学校生活だけでなく、家庭でも大切になります。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

能美市立根上中学校

【取組内容】GIGA環境を活用し教員の働き方改革につなげる取組

職員ポータルサイトの活用



グーグル・チャットの活用



スプレッドシートで月暦を共有

日	学校行事	日課や清掃の有無	職員間の伝達事項
11/4(月)	※3・4・1・2・5・6の順 3年4組保育自習 (2・3限) [] ICTサポート 生徒議会 生徒面談①	3年放課後学習 特別 簡	・10月30日～11月5日までの気になる生徒の入学の力を16:00までにお願いたします。※相談の会が持てない週でもSSWCにお渡しします。 【生徒議会リハーサル】急ですが、本日生徒議会(1-2)と生徒総会リハーサル(体育館ステージ)を実施します。特に学年委員長は体育館ステージで待機するようご伝達ください()
11/5(火)	定時退校日 3年放課後学習 生徒総会 (6限) 学年会	特別 簡	・翌日、年末レンジャーズ実施のため、2年生は職員駐車場に駐輪します。2年 ・リーディングDX授業公開、参加申込締切日です。
11/6(水)			

校務DX

グーグル・スペースの活用



【取組内容】 GIGA環境を活用し教員の働き方改革につなげる取組

職員ポータルサイトの構築と活用



情報管理の一元化
職員間の迅速な連携の実現

グーグル・チャットの活用



各グループで即時情報共有
職員間のコミュニケーション
向上

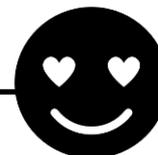
校務DX

情報共有の効率化
ペーパーレス化の推進

月曆のスプレッドシート化



会議資料をデジタル管理
会議資料の見返し



グーグル・スペースの活用